

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月9日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 パイオラックス
 コード番号 5988 URL <https://www.piolax.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島津 幸彦
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 永島 亨 TEL 045-731-1211
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 2020年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	20,384	△36.2	△3	—	700	△82.5	483	△84.5
2020年3月期第2四半期	31,934	△7.7	3,644	△31.0	3,992	△31.2	3,129	△27.8

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △944百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 2,165百万円 (△21.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	13.85	—
2020年3月期第2四半期	87.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	99,825	89,745	88.6
2020年3月期	101,755	91,460	88.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 88,438百万円 2020年3月期 90,115百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	22.50	—	22.50	45.00
2021年3月期	—	10.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	15.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,500	△25.6	2,400	△64.5	3,600	△51.3	2,700	△48.4	77.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有
(注) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	39,254,100株	2020年3月期	39,254,100株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	4,339,675株	2020年3月期	4,345,111株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	34,910,008株	2020年3月期2Q	35,817,086株

(注) 当社は、取締役向け株式報酬制度を導入しており、信託に残存する自社の株式は、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。（前第2四半期連結会計期間 92,956株、当第2四半期連結会計期間 81,929株）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(参考資料)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う経済活動の自粛、停滞が緊急事態宣言後において徐々に緩和されてきたものの、個人消費は依然として低迷を続け、景気は極めて厳しい状況で推移しております。海外につきましては、中国は新型コロナウイルス感染者の抑制により少しずつ経済が回復してきているものの、米国や欧州など世界各地において感染の第2波が到来するなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要なお取引先である自動車業界につきましては、中国など生産、販売が回復してきているものの、米国、欧州などの主要な海外市場ではロックダウン等による生産、稼働停止が発生しており、国内におきましても、海外同様に生産、在庫調整等が発生したこと等による生産減少を受け、国内生産台数は前年と比較して大幅な減少となりました。

このような需要環境のもと当社グループといたしましては、お取引先からのニーズを確実に捕捉し、グローバルに拡販活動を継続的に推進いたしました。主に新型コロナウイルス感染症の拡大によるお取引先からの稼働停止、生産縮小等に伴う減産影響を受け、売上高は20,384百万円と、前年同期比△11,550百万円(△36.2%)の減収となりました。

一方利益面におきましては、より一層の合理化を推進いたしました。減収による限界利益の減少等により、営業利益は△3百万円(前年同期は3,644百万円の利益)、経常利益は700百万円(前年同期比82.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は483百万円(前年同期比84.5%減)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

(自動車関連等)

米国をはじめ新興国市場等にグローバル拡販を積極的に推進いたしました。主に新型コロナウイルス感染症の拡大によるお取引先からの稼働停止、生産縮小等に伴う減産影響を受け、売上高は18,357百万円(前年同期比38.4%減)となりました。一方利益面においては、収益改善活動をグループ一丸となって推進いたしました。主に減収による限界利益の減少等により、営業利益は297百万円(前年同期比92.6%減)となりました。

(医療機器)

拡販を積極的に推進いたしました。新型コロナウイルス感染症に伴う営業活動の縮小等により、売上高は2,026百万円(前年同期比5.8%減)となりました。一方利益面においては、合理化活動を推進いたしました。主に減収による限界利益の減少等により、営業利益は101百万円(前年同期比16.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、受取手形及び売掛金の減少等により1,930百万円減少し、99,825百万円となりました。

負債合計は、買掛金の減少等により215百万円減少し、10,080百万円となりました。

純資産合計は、為替換算調整勘定の減少等により1,714百万円減少し、89,745百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は、税金等調整前四半期純利益700百万円および減価償却費1,726百万円、売上債権の減少額3,230百万円等の収入要因に対し、有形固定資産の取得による支出1,328百万円等の支出要因の結果、前連結会計年度末と比較して2,777百万円(10.6%)増加し、当第2四半期連結会計期間末には29,024百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益は減少しましたが、主に売上債権の減少額が増加したこと等により4,057百万円の収入(前年同期比9.7%増)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入による支出及び有形固定資産の取得による支出の減少等により1,528百万円の支出(前年同期比58.7%減)となりました。

なお、営業活動により得られたキャッシュ・フローと投資活動により使用したキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは、2,528百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入れによる収入の増加等により666百万円の収入(前年同期は835百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

国内外におけるコロナウイルス感染拡大に伴う影響について、当第2四半期連結累計期間まで影響が続きましたが、第3四半期連結会計期間以降は国内外におけるお取引先からの受注が徐々に回復するとの前提に基づいて算定しており、現時点で入手可能な販売、生産動向などを勘案して通期の業績予想を見直しましたので修正いたします。

為替レートにつきましては、1米ドル=105円を想定しております。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2020年8月31日発表)	百万円 45,000	百万円 1,900	百万円 2,600	百万円 1,800	円 銭 51 56
今回発表予想(B)	46,500	2,400	3,600	2,700	77 34
増減額(B-A)	1,500	500	1,000	900	—
増減率(%)	3.3	26.3	38.5	50.0	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	62,480	6,753	7,396	5,231	147 32

なお、本業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,424	35,407
受取手形及び売掛金	12,346	9,416
電子記録債権	1,785	1,246
有価証券	2,154	999
商品及び製品	4,832	5,045
仕掛品	1,705	1,466
原材料及び貯蔵品	1,796	1,761
未収還付法人税等	—	143
その他	1,958	1,580
貸倒引当金	△35	△34
流動資産合計	57,968	57,034
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,197	7,847
機械装置及び運搬具(純額)	7,339	6,658
工具、器具及び備品(純額)	2,119	2,001
土地	5,565	5,537
リース資産(純額)	107	98
建設仮勘定	1,162	1,377
有形固定資産合計	24,492	23,522
無形固定資産		
その他	1,869	1,687
無形固定資産合計	1,869	1,687
投資その他の資産		
投資有価証券	16,161	16,333
その他	1,263	1,248
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	17,425	17,581
固定資産合計	43,787	42,791
資産合計	101,755	99,825

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,037	2,137
未払法人税等	289	299
引当金	861	731
短期借入金	—	1,500
その他	3,692	3,033
流動負債合計	7,879	7,703
固定負債		
引当金	57	53
退職給付に係る負債	265	266
資産除去債務	57	56
その他	2,035	2,001
固定負債合計	2,415	2,377
負債合計	10,295	10,080
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,960	2,960
資本剰余金	2,888	2,888
利益剰余金	89,206	88,902
自己株式	△5,003	△4,986
株主資本合計	90,052	89,765
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	649	746
繰延ヘッジ損益	2	△0
為替換算調整勘定	△316	△1,828
退職給付に係る調整累計額	△273	△245
その他の包括利益累計額合計	62	△1,327
非支配株主持分	1,345	1,307
純資産合計	91,460	89,745
負債純資産合計	101,755	99,825

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	31,934	20,384
売上原価	23,121	16,209
売上総利益	8,813	4,174
販売費及び一般管理費	5,168	4,178
営業利益又は営業損失(△)	3,644	△3
営業外収益		
受取利息	76	77
受取配当金	37	18
持分法による投資利益	315	255
為替差益	—	184
雇用調整助成金	—	175
その他	77	94
営業外収益合計	508	805
営業外費用		
支払利息	0	6
デリバティブ評価損	3	—
為替差損	58	—
固定資産廃棄損	21	16
貸貸収入原価	2	2
保険解約損	19	—
事務所移転費用	38	—
建物解体費用	—	56
その他	16	20
営業外費用合計	160	101
経常利益	3,992	700
税金等調整前四半期純利益	3,992	700
法人税等	844	196
四半期純利益	3,147	503
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	20
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,129	483

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	3,147	503
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△198	23
繰延ヘッジ損益	△6	△2
為替換算調整勘定	△730	△1,488
持分法適用会社に対する持分相当額	△45	19
その他の包括利益合計	△981	△1,448
四半期包括利益	2,165	△944
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,219	△906
非支配株主に係る四半期包括利益	△53	△37

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,992	700
減価償却費	1,861	1,726
持分法による投資損益 (△は益)	△315	△255
デリバティブ評価損益 (△は益)	3	△14
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	46	9
賞与引当金の増減額 (△は減少)	20	△129
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2	—
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△0	—
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	△12	△4
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△0
受取利息及び受取配当金	△114	△95
支払利息	0	6
固定資産廃棄損	21	16
売上債権の増減額 (△は増加)	5	3,230
たな卸資産の増減額 (△は増加)	347	△165
仕入債務の増減額 (△は減少)	△130	△1,152
その他	△993	269
小計	4,729	4,141
利息及び配当金の受取額	201	191
利息の支払額	△0	△1
法人税等の支払額	△1,231	△273
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,699	4,057
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,604	△426
定期預金の払戻による収入	304	—
有価証券の取得による支出	△400	—
有価証券の償還による収入	150	153
有形固定資産の取得による支出	△1,936	△1,328
有形固定資産の売却による収入	56	11
無形固定資産の取得による支出	△148	△13
投資有価証券の取得による支出	△209	△2
投資有価証券の売却による収入	—	106
その他	86	△29
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,699	△1,528
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	1,500
自己株式の取得による支出	△0	—
自己株式の処分による収入	26	17
配当金の支払額	△835	△814
非支配株主への配当金の支払額	△22	△13
その他	△4	△22
財務活動によるキャッシュ・フロー	△835	666
現金及び現金同等物に係る換算差額	△186	△416
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,022	2,777
現金及び現金同等物の期首残高	27,646	26,246
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,623	29,024

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

①税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴う会計上の見積りについて)

繰延税金資産の回収可能性の判断および固定資産の減損判定等にあたり、国内外における新型コロナウイルスの感染拡大に伴う影響について、当第2四半期連結累計期間まで影響が続きましたが、下期以降徐々に正常化すると的前提に基づいて、足元の実績をもとに当初の事業計画値に反映し会計上の見積りとしております。

なお、将来において、これらの見積りおよび仮定とは異なる結果となる可能性があります。

また、国内外における新型コロナウイルスの感染拡大に伴う自動車生産の減少や操業停止等により、自動車市場の需要環境は極めて不透明となっており、当社グループの自動車関連等事業に大きく影響を及ぼしております。これに加え、各国におけるロックダウン等による外出制限により、当社グループ会社の工場の一部が稼働休止となるなどの直接的な影響も生じております。

当該事象が当連結会計年度以降の財政状態及び経営成績にも影響を及ぼす可能性があります。

なお、当該仮定について、前期の有価証券報告書に記載した追加情報の内容から重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動車関連等	医療機器	合計
売上高			
外部顧客に対する売上高	29,782	2,152	31,934
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	29,782	2,152	31,934
セグメント利益	4,041	122	4,163

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,163
全社費用(注)	△523
セグメント間取引消去	6
その他の調整額	△1
四半期連結損益計算書の営業利益	3,644

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動車関連等	医療機器	合計
売上高			
外部顧客に対する売上高	18,357	2,026	20,384
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	18,357	2,026	20,384
セグメント利益	297	101	399

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	399
全社費用(注)	△407
セグメント間取引消去	6
その他の調整額	△1
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△3

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な該当事項はありません。

(参考資料)

[所在地別セグメント情報]

I 前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	合計 (百万円)	消去 又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	15,546	6,332	8,596	1,459	31,934	—	31,934
(2)セグメント間の内部売上高	2,024	149	600	8	2,781	△2,781	—
計	17,570	6,482	9,196	1,467	34,716	△2,781	31,934
営業利益	1,813	771	977	142	3,705	△60	3,644

II 当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	合計 (百万円)	消去 又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	10,038	3,637	6,013	694	20,384	—	20,384
(2)セグメント間の内部売上高	1,311	152	401	5	1,870	△1,870	—
計	11,349	3,790	6,415	699	22,254	△1,870	20,384
営業利益	△348	157	307	△5	110	△114	△3